

平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の概要



平成30年10月25日
千葉県教育庁教育振興部
児童生徒課
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸課題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、暴力行為、いじめ、長期欠席、公立高等学校の中途退学、自殺に関する平成29年度調査の本県分（千葉市を含む公立学校）を取りまとめたものです。

主な調査結果の前年度比較

項目	平成29年度	平成28年度	増減
暴力行為の発生件数	4,346件	3,736件	610件増加
いじめの認知件数	35,833件	31,617件	4,216件増加
小・中・義務教育学校不登校児童・生徒数	6,243人	5,647人	596人増
高等学校不登校生徒数	2,616人	2,658人	42人減
中途退学者数	1,346人	1,332人	14人増

1 調査項目及び対象

(1) 暴力行為

県内全公立小・中・義務教育・高等学校

(2) いじめ

県内全公立小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校

(3) 小学校及び中学校における長期欠席の状況等

県内全公立小・中・義務教育学校

(4) 高等学校における長期欠席の状況等

県内全公立高等学校

(5) 高等学校における中途退学者数等の状況

県内全公立高等学校

(6) 自殺

県内全公立小・中・義務教育・高等学校

義務教育学校においては、前期課程は小学校に、後期課程は中学校に計上

2 調査対象期間

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間

3 調査結果の概要

(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は4,346件で、前年度の3,736件より610件増加。

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は2,455件で、前年度の1,539件より916件増加している。

中学校における発生件数は1,701件で、前年度の2,018件より317件減少している。

高等学校における発生件数は190件で、前年度の179件より11件増加している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は358件で、前年度の127件より231件増加している。中学校における発生件数は151件で、前年度の257件より106件減少している。高等学校における発生件数は12件で、前年度の7件より5件増加している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は1,882件で、前年度の1,285件より597件増加している。中学校における発生件数は976件で、前年度の1,190件より214件減少している。高等学校における発生件数は123件で、前年度の119件より4件増加している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は18件で、前年度の11件より7件増加している。中学校における発生件数は54件で、前年度の76件より22件減少している。高等学校における発生件数は10件で、前年度の10件と同数である。

(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は197件で、前年度の116件より81件増加している。中学校における発生件数は520件で、前年度の495件より25件増加している。高等学校における発生件数は45件で、前年度の43件より2件増加している。

(2) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は35,833件で、前年度の31,617件より4,216件増加。

ア 校種別認知件数

(ア) 小学校における認知件数は28,951件で、前年度の24,876件より4,075件増加している。

(イ) 中学校における認知件数は6,267件で、前年度の6,376件より109件減少している。

(ウ) 高等学校における認知件数は448件で、前年度の253件より195件増加している。

(エ) 特別支援学校における認知件数は167件で、前年度の112件より55件増加している。

イ いじめの現在の状況

いじめの現在の状況（平成30年3月31日現在）としては、「解消しているもの」が29,368件で、全認知件数の82.0%、「解消に向けて取組中」が6,424件で17.9%、「その他」が41件で0.1%である。

ウ いじめの発見のきっかけ

（ア）小学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、アンケート調査など（71.5%）、本人からの訴え（11.6%）、学級担任が発見（9.9%）である。

（イ）中学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、アンケート調査など（53.9%）、本人からの訴え（22.8%）、学級担任が発見（7.4%）である。

（ウ）高等学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、アンケート調査など（52.7%）、本人からの訴え（21.2%）、学級担任が発見（8.3%）である。

（エ）特別支援学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、アンケート調査など（58.1%）、学級担任が発見（21.6%）、本人からの訴え（10.2%）である。

エ いじめられた児童生徒の相談の状況

（ア）小学校の児童の「相談の状況」のうち上位3つは、学級担任に相談（86.2%）、保護者や家族等に相談（14.9%）、友人に相談（4.8%）である。

（イ）中学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、学級担任に相談（76.6%）、保護者や家族等に相談（21.2%）、学級担任以外の教職員に相談（13.9%）である。

（ウ）高等学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、学級担任に相談（58.9%）、学級担任以外の教職員に相談（21.0%）、養護教諭に相談（15.6%）である。

（エ）特別支援学校の児童生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、学級担任に相談（92.2%）、学級担任以外の教職員に相談（9.6%）、保護者や家族等に相談（4.2%）である。

オ いじめの態様

（ア）小学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、冷やかしゃからかい、悪口等（58.1%）、軽くぶつかられる、たたかれる等（26.4%）、仲間はずれ、集団による無視（18.8%）である。

（イ）中学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、冷やかしゃからかい、悪口等（64.2%）、仲間はずれ、集団による無視（14.7%）、軽くぶつかられる、たたかれる等（13.9%）である。

（ウ）高等学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、冷やかしゃからかい、悪口等（58.3%）、パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる（19.9%）、仲間はずれ、集団による無視（11.4%）である。

（エ）特別支援学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、冷やかしゃからかい、悪口等（50.3%）、軽くぶつかられる、たたかれる（24.6%）、パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる、金品を隠されたり、盗まれたりする等（共に8.4%）である。

(3) 小学校における長期欠席児童数は4,060人で、全児童に対する割合は1.30%である。長期欠席児童の中で不登校を理由としている児童数は1,606人で、前年度の1,456人より150人増加し、全児童に対する割合は0.51%で0.05ポイント増加。

中学校における長期欠席生徒数は6,784人で、全生徒に対する割合は4.47%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は4,637人で、前年度の4,191人より446人増加し、全生徒に対する割合は3.06%で0.33ポイント増加。

不登校児童生徒数(平成29年度に通算して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数)

ア 長期欠席者の状況

(ア) 小学校の長期欠席者4,060人のうち、「病気」は1,697人で長期欠席者全体に占める割合は41.8%、「経済的理由」は0人、「不登校」は1,606人で長期欠席者全体に占める割合は39.6%、「その他」は757人で長期欠席者全体に占める割合は18.6%である。

(イ) 中学校の長期欠席者6,784人のうち、「病気」は1,751人で長期欠席者全体に占める割合は25.8%、「経済的理由」は0人、「不登校」は4,637人で、長期欠席者全体に占める割合は68.4%、「その他」は396人で長期欠席者全体に占める割合は5.8%である。

イ 不登校の要因

(ア) 小学校の児童で「不登校の要因」の学校・家庭に係る要因を示す区分のうち上位3つは、家庭に係る状況(50.2%)、いじめを除く友人関係をめぐる問題(20.9%)、学業の不振(12.3%)である。なお「いじめ」は0.2%である。

また、本人に係る要因を示す分類のうち上位2つは、「不安」の傾向がある(36.3%)、「無気力」の傾向がある(29.3%)となっている。

(イ) 中学校の生徒で「不登校の要因」の学校・家庭に係る要因を示す区分のうち上位3つは、いじめを除く友人関係をめぐる問題(33.4%)、家庭に係る状況(28.1%)、学業の不振(23.8%)である。なお「いじめ」は0.1%である。また、本人に係る要因を示す分類のうち上位2つは、「無気力」の傾向がある(34.0%)、「不安」の傾向がある(28.5%)となっている。

ウ 不登校児童生徒の欠席の状況

(ア) 小学校の不登校児童で「うち、90日以上欠席している者」の割合は45.2%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は6.7%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は2.7%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は62.9%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は13.0%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は4.5%である。

エ 不登校児童生徒への指導結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「指導の結果登校する又はできるようになった児童」の割合は、20.9%である。

不登校児童のうち、指導により「継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童」の割合は、23.3%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、25.8%である。

不登校生徒のうち、指導により「継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、19.9%である。

オ 不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

(ア) 小学校の不登校児童で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、スクールカウンセラー、相談員等(31.6%)、養護教諭(19.8%)、教育委員会所管の機関(教育支援センターを除く)(13.4%)である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、スクールカウンセラー、相談員等(32.2%)、養護教諭(16.5%)、教育支援センター(11.2%)である。

(4) 高等学校における長期欠席生徒数は3,249人で、全生徒に対する割合は3.14%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は2,616人で、前年度の2,658人より42人減少し、全生徒に対する割合は2.53%で前年度より0.02ポイント減少。

ア 長期欠席者の状況

(ア) 長期欠席者3,249人のうち、「病気」は384人で長期欠席者全体に占める割合は11.8%、「経済的理由」は77人で長期欠席者全体に占める割合は2.4%、「不登校」は2,616人で長期欠席者全体に占める割合は80.5%、「その他」は172人で長期欠席者全体に占める割合は5.3%である。

(イ) 長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は1,830人で、全日制生徒全体に対する割合は1.8%、定時制の生徒数は786人で、定時制生徒全体に対する割合は27.5%である。

イ 不登校の要因

(ア) 全日制の生徒で「不登校の要因」の学校・家庭に係る要因を示す区分のうち上位3つは、学業の不振(34.4%)、いじめを除く友人関係をめぐる問題(20.2%)、入学、転編入学、進級時の不適応(15.9%)である。なお「いじめ」は0.2%である。

また、本人に係る要因を示す分類のうち上位2つは、「無気力」の傾向がある(46.2%)、「学校における人間関係」に課題を抱えている(15.1%)となっている。

(イ) 定時制の生徒で「不登校の要因」の学校・家庭に係る要因を示す区分のうち上位3つは、いじめを除く友人関係をめぐる問題(33.1%)、家庭に係る状況(30.8%)、学業の不振(22.4%)である。なお「いじめ」は0件である。

また、本人に係る要因を示す分類のうち上位2つは、「無気力」の傾向がある(31.4%)、「学校における人間関係」に課題を抱えている、「不安」の傾向がある(共に18.2%)。[その他(19.0%)を除いた順位]

ウ 不登校生徒の欠席の状況

高等学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は14.4%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は2.7%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は1.0%である。

エ 不登校生徒への指導結果状況

高等学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、全日制で35.7%、定時制で36.3%である。

不登校の生徒のうち、指導により、「継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、全日制で5.1%、定時制で9.5%である。

オ 不登校生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、スクールカウンセラー、相談員等(17.7%)、養護教諭(17.6%)、病院・診療所(3.9%)である。

(5) 公立高等学校の中途退学者数は1,346人で、前年度の1,332人より14人増加し、年度当初の在籍者数に占める割合は1.29%であり、前年度の1.27%より0.02ポイント増加。

(平成29年4月1日の在籍者数104,625人を基準とする中途退学率)

課程別に見ると、全日制が1,008人で、前年度の1,008人と同数であり、定時制は327人で、前年度の282人より45人増加。通信制は11人で、前年度の42人より31人減少。

ア 課程別の中途退学率は、全日制が1.0%で前年度の1.0%と同じである。

定時制は11.4%で前年度の9.7%より1.7ポイント増加している。通信制は1.0%で前年度の3.9%より2.9ポイント減少している。

イ 全日制の学年別中途退学率は、第1学年では1.6%、第2学年では1.2%、第3学年では0.5%である。また、単位制では0.5%である。

ウ 全中途退学者数に占める割合は、全日制において第1学年では32.6%、第2学年では24.6%、第3学年では10.2%、単位制では7.5%である。また、定時制は24.3%、通信制は0.8%である。

エ 中途退学の理由の上位3つは、学校生活・学業不適應(51.0%)、進路変更(23.3%)、学業不振(12.2%)である。

(ア)「学校生活・学業不適應」の内訳としての上位3つは、もともと高校生活に熱意がない(43.7%)、人間関係がうまく保てない(18.9%)、授業に興味を湧かない(17.0%)である。

(イ)「進路変更」の内訳としての上位3つは、就職を希望(40.9%)、別の高校への入学を希望(39.9%)、高卒程度認定試験受験を希望(8.0%)である。[その他(8.6%)を除いた順位]

(6) 小・中・高等学校における自殺者数は13人(小1人、中6人、高6人)。

千葉県の問題行動・不登校等の諸課題の概要

1 暴力行為

校種別 形態・年度	小学校(件)		中学校(件)		高等学校(件)		合計(件)			増減	
	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	計		
対教師 暴力	19年度	29	1	243	0	23	0	295	1	296	
	20年度	45	0	279	2	18	0	342	2	344	48
	21年度	64	0	183	0	14	0	261	0	261	83
	22年度	75	2	271	0	30	0	376	2	378	117
	23年度	83	0	244	14	21	0	348	14	362	16
	24年度	80	0	211	1	20	0	311	1	312	50
	25年度	98	0	271	2	14	0	383	2	385	73
	26年度	225	0	235	3	17	0	477	3	480	95
	27年度	145	0	154	1	12	0	311	1	312	168
	28年度	127	0	257	0	7	0	391	0	391	79
29年度	358	0	151	0	12	0	521	0	521	130	
生徒間 暴力	19年度	132	9	834	104	172	20	1,138	133	1,271	
	20年度	199	35	969	96	184	19	1,352	150	1,502	231
	21年度	278	15	1,006	137	177	20	1,461	172	1,633	131
	22年度	317	8	1,063	144	179	29	1,559	181	1,740	107
	23年度	317	24	1,088	128	154	23	1,559	175	1,734	6
	24年度	353	23	1,048	148	152	22	1,553	193	1,746	12
	25年度	535	33	1,212	138	123	21	1,870	192	2,062	316
	26年度	668	20	1,210	123	139	12	2,017	155	2,172	110
	27年度	1,077	54	1,102	62	143	9	2,322	125	2,447	275
	28年度	1,238	47	1,148	42	103	16	2,489	105	2,594	147
29年度	1,801	81	936	40	111	12	2,848	133	2,981	387	
対人 暴力	19年度	6	2	9	65	0	13	15	80	95	
	20年度	4	7	10	53	2	12	16	72	88	7
	21年度	11	1	23	74	0	15	34	90	124	36
	22年度	7	3	14	56	0	18	21	77	98	26
	23年度	15	2	9	48	0	17	24	67	91	7
	24年度	2	2	8	65	0	8	10	75	85	6
	25年度	19	2	44	66	3	13	66	81	147	62
	26年度	7	8	12	41	1	3	20	52	72	75
	27年度	19	5	37	18	6	1	62	24	86	14
	28年度	9	2	38	38	3	7	50	47	97	11
29年度	16	2	27	27	2	8	45	37	82	15	
器物 損壊	19年度	46	-	652	-	64	-	762	-	762	
	20年度	40	-	1,051	-	75	-	1,166	-	1,166	404
	21年度	86	-	821	-	57	-	964	-	964	202
	22年度	109	-	801	-	54	-	964	-	964	0
	23年度	98	-	714	-	84	-	896	-	896	68
	24年度	86	-	575	-	83	-	744	-	744	152
	25年度	101	-	673	-	63	-	837	-	837	93
	26年度	134	-	661	-	38	-	833	-	833	4
	27年度	143	-	487	-	43	-	673	-	673	160
	28年度	116	-	495	-	43	-	654	-	654	19
29年度	197	-	520	-	45	-	762	-	762	108	
合計	19年度	213	12	1,738	169	259	33	2,210	214	2,424	
	20年度	288	42	2,309	151	279	31	2,876	224	3,100	676
	21年度	439	16	2,033	211	248	35	2,720	262	2,982	118
	22年度	508	13	2,149	200	263	47	2,920	260	3,180	198
	23年度	513	26	2,055	190	259	40	2,827	256	3,083	97
	24年度	521	25	1,842	214	255	30	2,618	269	2,887	196
	25年度	753	35	2,200	206	203	34	3,156	275	3,431	544
	26年度	1,034	28	2,118	167	195	15	3,347	210	3,557	126
	27年度	1,384	59	1,780	81	204	10	3,368	150	3,518	39
	28年度	1,490	49	1,938	80	156	23	3,584	152	3,736	218
29年度	2,372	83	1,634	67	170	20	4,176	170	4,346	610	

2 いじめ

年度	小学校 (件)	中学校 (件)	高等 学校(件)	特別支援 学校(件)	合計(件)	増減
19年度	5,103	3,970	141	12	9,226	
20年度	3,646	3,244	145	6	7,041	2,185
21年度	3,570	2,997	93	14	6,674	367
22年度	4,239	3,931	158	7	8,335	1,661
23年度	3,672	3,556	138	12	7,378	957
24年度	14,175	5,916	565	31	20,687	13,309
25年度	13,884	6,162	132	9	20,187	500
26年度	19,410	6,180	197	24	25,811	5,624
27年度	22,537	6,499	213	127	29,376	3,565
28年度	24,876	6,376	253	112	31,617	2,241
29年度	28,951	6,267	448	167	35,833	4,216

3 不登校

年度	小学校不登校生徒数		中学校不登校生徒数		合計(人)	増減	高等学校不登校生徒数		増減
	不登校児童数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)			不登校生徒数(人)	不登校率(%)	
19年度	819	0.25%	4,363	2.89%	5,182		3,195	3.17%	
20年度	811	0.24%	4,340	2.87%	5,151	31	2,851	2.86%	344
21年度	852	0.26%	4,247	2.77%	5,099	52	2,376	2.39%	475
22年度	871	0.26%	4,182	2.74%	5,053	46	2,506	2.47%	130
23年度	898	0.27%	3,879	2.51%	4,777	276	3,017	2.93%	511
24年度	856	0.26%	3,734	2.42%	4,590	187	2,890	2.77%	127
25年度	1,086	0.34%	3,884	2.51%	4,970	380	2,845	2.75%	45
26年度	1,158	0.36%	3,963	2.56%	5,121	151	2,939	2.82%	94
27年度	1,233	0.39%	4,160	2.69%	5,393	272	2,604	2.51%	335
28年度	1,456	0.46%	4,191	2.73%	5,647	254	2,658	2.55%	54
29年度	1,606	0.51%	4,637	3.06%	6,243	596	2,616	2.53%	42

4 高等学校の長期欠席状況等

年度	生徒数(人)	長期欠席者			増減	長欠率(%)
		不登校(人)	病気・経済的・その他(人)	合計		
19年度	100,798	3,195	1,632	4,827		4.79%
20年度	99,616	2,851	1,672	4,523	304	4.54%
21年度	99,497	2,376	1,238	3,614	909	3.63%
22年度	101,647	2,506	1,178	3,684	70	3.62%
23年度	102,897	3,017	877	3,894	210	3.78%
24年度	104,388	2,890	922	3,812	82	3.65%
25年度	103,495	2,845	828	3,673	139	3.55%
26年度	104,268	2,939	737	3,676	3	3.53%
27年度	103,808	2,604	845	3,449	227	3.32%
28年度	104,045	2,658	921	3,579	130	3.44%
29年度	103,490	2,616	633	3,249	330	3.14%

5 高等学校の中途退学者

年度	中退率(%)	全日制(人)	定時制(人)	通信制(人)	合計(人)	増減
19年度	2.36%	1,936	442	-	2,378	
20年度	2.19%	1,695	490	-	2,185	193
21年度	1.75%	1,305	440	-	1,745	440
22年度	1.62%	1,157	494	-	1,651	94
23年度	1.66%	1,177	530	-	1,707	56
24年度	1.50%	1,083	480	-	1,563	144
25年度	1.51%	1,107	473	10	1,590	27
26年度	1.40%	1,020	443	14	1,477	113
27年度	1.24%	875	391	38	1,304	173
28年度	1.27%	1,008	282	42	1,332	28
29年度	1.29%	1,008	327	11	1,346	14

注1)平成25年度より通信制課程が加わった。

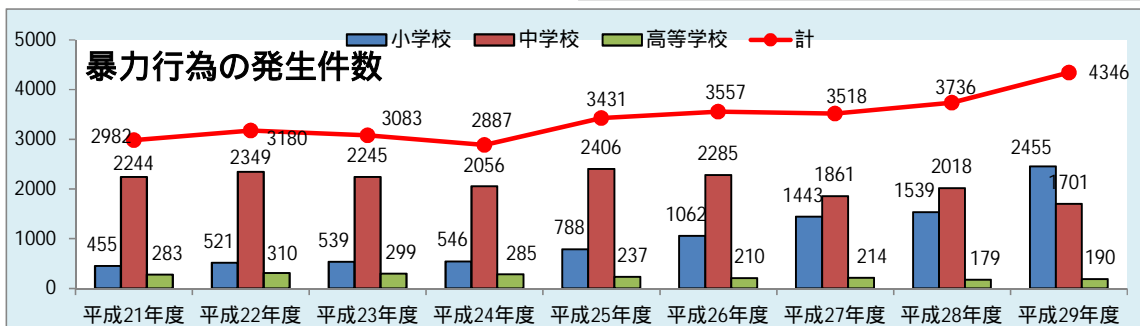
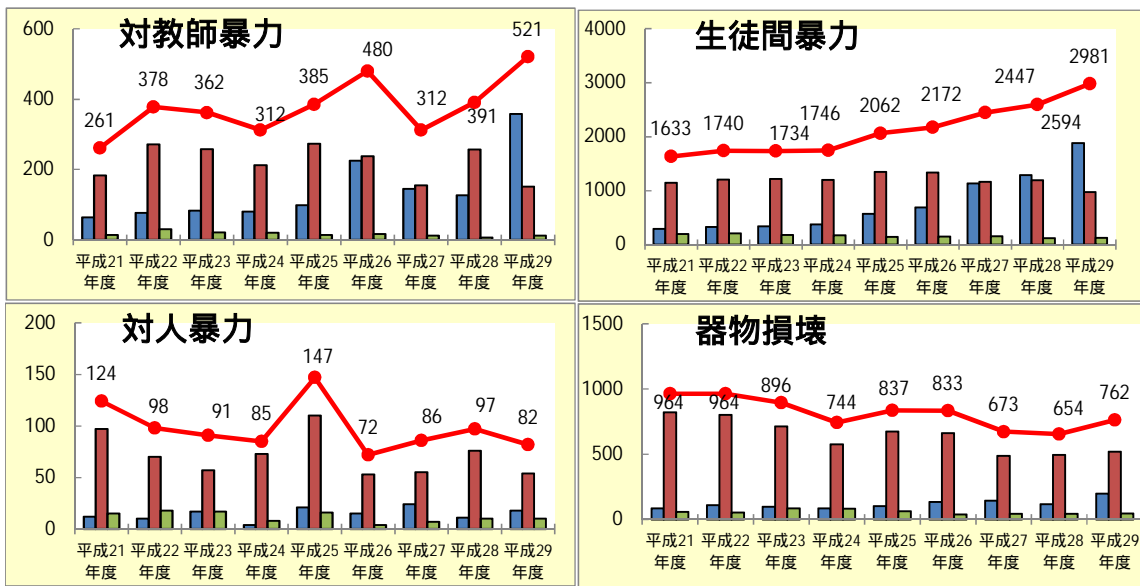
6 自殺

年度	小学校(人)	中学校(人)	高等学校(人)	合計(人)
19年度	0	0	3	3
20年度	0	3	4	7
21年度	0	2	4	6
22年度	0	1	5	6
23年度	0	1	0	1
24年度	1	2	9	12
25年度	0	4	8	12
26年度	2	4	7	13
27年度	0	4	4	8
28年度	0	2	6	8
29年度	1	6	6	13

平成29年度 公立小・中・高等学校の暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	対教師暴力		生徒間暴力		対人暴力		器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成21年度	小学校	64	0	278	15	11	1	86	455	2,982
	中学校	183	0	1,006	137	23	74	821	2,244	
	高等学校	14	0	177	20	0	15	57	283	
平成22年度	小学校	75	2	317	8	7	3	109	521	3,180
	中学校	271	0	1,063	144	14	56	801	2,349	
	高等学校	30	0	179	29	0	18	54	310	
平成23年度	小学校	83	0	317	24	15	2	98	539	3,083
	中学校	244	14	1,088	128	9	48	714	2,245	
	高等学校	21	0	154	23	0	17	84	299	
平成24年度	小学校	80	0	353	23	2	2	86	546	2,887
	中学校	211	1	1,048	148	8	65	575	2,056	
	高等学校	20	0	152	22	0	8	83	285	
平成25年度	小学校	98	0	535	33	19	2	101	788	3,431
	中学校	271	2	1,212	138	44	66	673	2,406	
	高等学校	14	0	123	21	3	13	63	237	
平成26年度	小学校	225	0	668	20	7	8	134	1,062	3,557
	中学校	235	3	1,210	123	12	41	661	2,285	
	高等学校	17	0	139	12	1	3	38	210	
平成27年度	小学校	145	0	1,077	54	19	5	143	1,443	3,518
	中学校	154	1	1,102	62	37	18	487	1,861	
	高等学校	12	0	143	9	6	1	43	214	
平成28年度	小学校	127	0	1,238	47	9	2	116	1,539	3,736
	中学校	257	0	1,148	42	38	38	495	2,018	
	高等学校	7	0	103	16	3	7	43	179	
平成29年度	小学校	358	0	1,801	81	16	2	197	2,455	4,346
	中学校	151	0	936	40	27	27	520	1,701	
	高等学校	12	0	111	12	2	8	45	190	



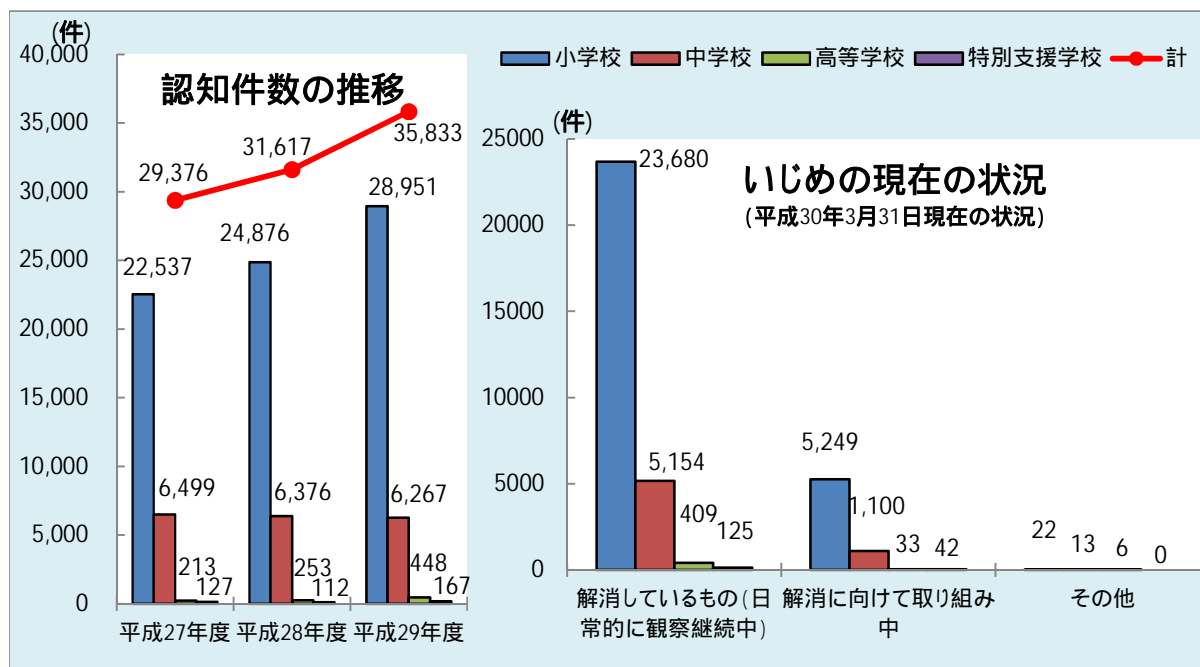
暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)
 「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

平成29年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合 (%)		認知件数	増減 [%]	一校平均 件数
			校数	割合 (%)			
小学校	平成27年度	810	622	76.8%	22,537	3,127 [16.1%]	27.8
	平成28年度	806	682	84.6%	24,876	2,339 [10.4%]	30.9
	平成29年度	796	724	91.0%	28,951	4,075 [16.4%]	36.4
中学校	平成27年度	381	333	87.4%	6,499	319 [5.2%]	17.1
	平成28年度	381	348	91.3%	6,376	123 [1.9%]	16.7
	平成29年度	379	352	92.9%	6,267	109 [1.7%]	16.5
高等学校	平成27年度	146	60	41.1%	213	16 [8.1%]	1.5
	平成28年度	146	70	47.9%	253	40 [18.8%]	1.7
	平成29年度	146	113	77.4%	448	195 [77.1%]	3.1
特別 学校 支援	平成27年度	42	13	31.0%	127	103 [429.2%]	3.0
	平成28年度	42	17	40.5%	112	15 [11.8%]	2.7
	平成29年度	43	19	44.2%	167	55 [49.1%]	3.9
計	平成27年度	1,379	1,028	74.5%	29,376	3,565 [13.8%]	21.3
	平成28年度	1,375	1,117	81.2%	31,617	2,241 [7.6%]	23.0
	平成29年度	1,364	1,208	88.6%	35,833	4,216 [13.3%]	26.3

高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制128校、定時制17校、通信制1校の合計である。



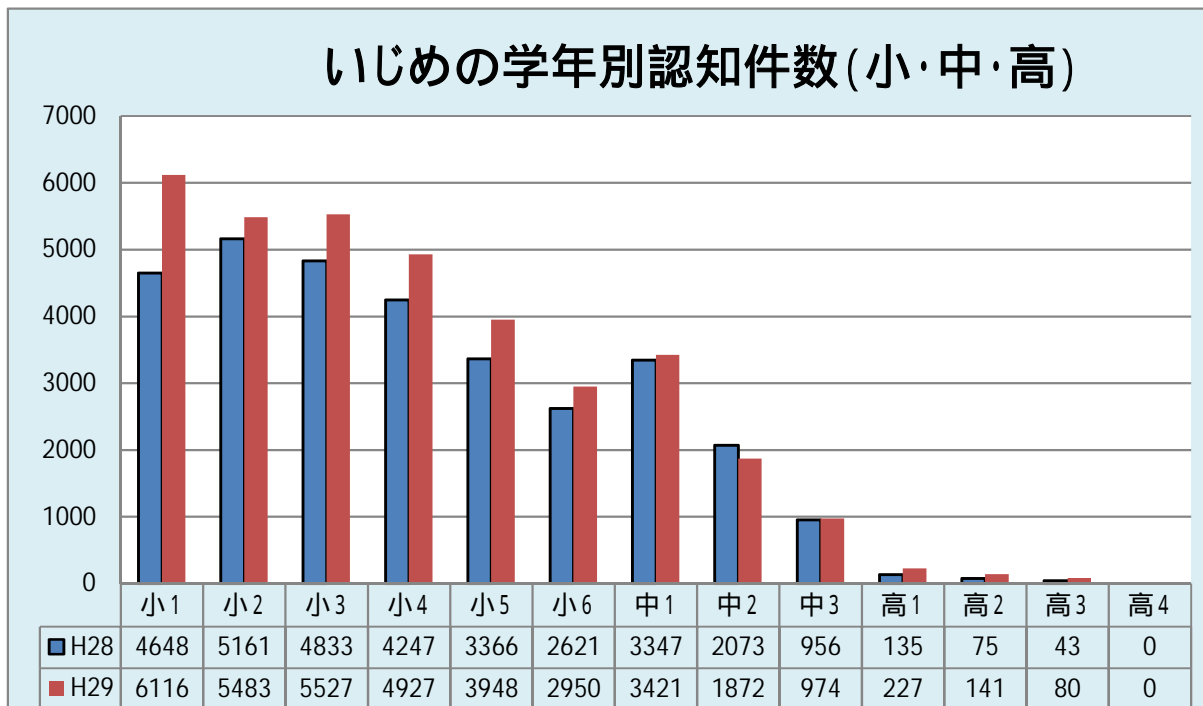
いじめの定義(平成25年度一部改訂)

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。
「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別, 男女別内訳

(単位:件)

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	男子	3,521	2,942	3,053	2,785	2,281	1,632	16,214	
	女子	2,595	2,541	2,474	2,142	1,667	1,318	12,737	
	小計	6,116	5,483	5,527	4,927	3,948	2,950	28,951	
中学校	男子	1,988	1,065	510	-	-	-	3,563	
	女子	1,433	807	464	-	-	-	2,704	
	小計	3,421	1,872	974	-	-	-	6,267	
高等学校	男子	127	69	49	0	-	-	245	
	女子	100	72	31	0	-	-	203	
	小計	227	141	80	0	-	-	448	
特別支援学校	小学部	男子	3	5	3	3	6	4	24
		女子	1	3	1	1	3	0	9
		小計	4	8	4	4	9	4	33
	中学部	男子	4	4	13	-	-	-	21
		女子	2	2	5	-	-	-	9
		小計	6	6	18	-	-	-	30
	高等部	男子	31	13	14	-	-	-	58
		女子	21	8	17	-	-	-	46
		小計	52	21	31	-	-	-	104
特別支援学校計		62	35	53	4	9	4	167	
合計		9,826	7,531	6,634	4,931	3,957	2,954	35,833	



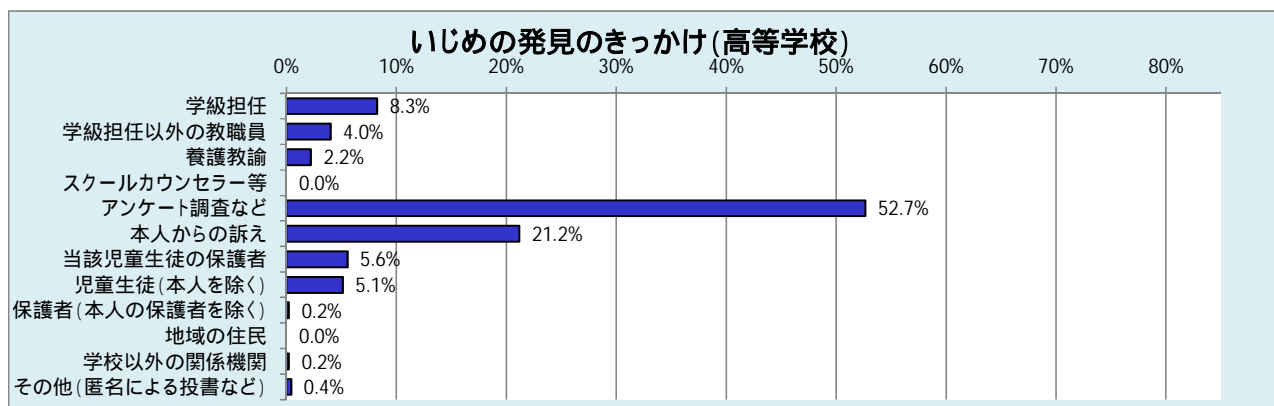
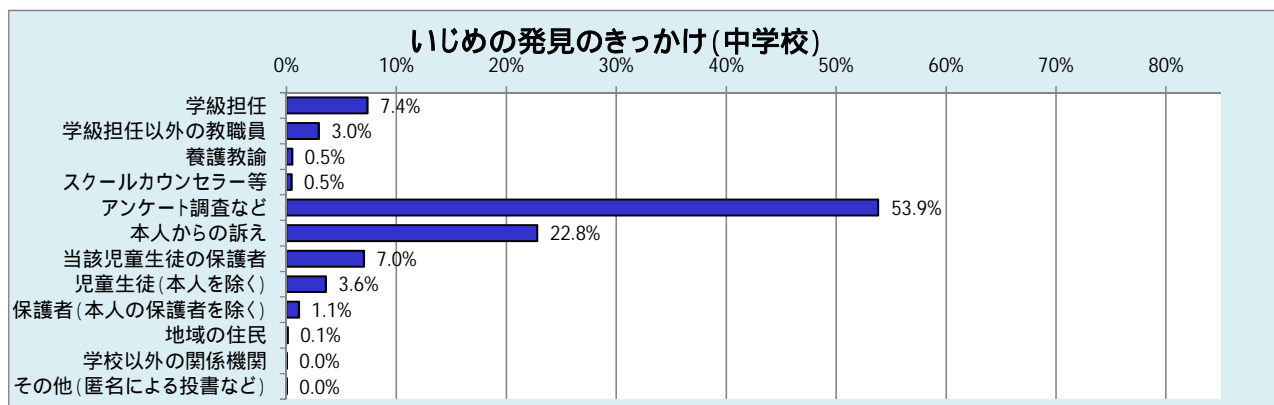
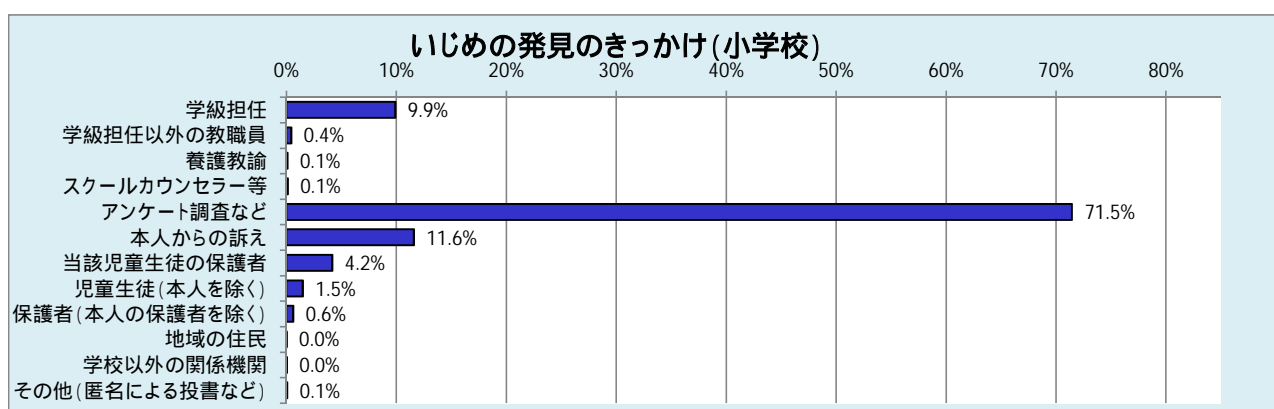
28年度と比較して小学校全体で4,075件の増加

(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見		23,748	4,085	301	138	28,272
内訳	学級担任	2,871	462	37	36	3,406
	学級担任以外の教職員	129	185	18	2	334
	養護教諭	29	34	10	0	73
	スクールカウンセラー等	32	29	0	3	64
	アンケート調査など	20,687	3,375	236	97	24,395
学校の教職員以外からの情報により発見		5,203	2,182	147	29	7,561
内訳	本人からの訴え	3,357	1,431	95	17	4,900
	当該児童生徒の保護者	1,209	441	25	9	1,684
	児童生徒(本人を除く)	428	224	23	3	678
	保護者(本人の保護者を除く)	180	72	1	0	253
	地域の住民	2	8	0	0	10
	学校以外の関係機関	11	3	1	0	15
	その他(匿名による投書など)	16	3	2	0	21
計		28,951	6,267	448	167	35,833



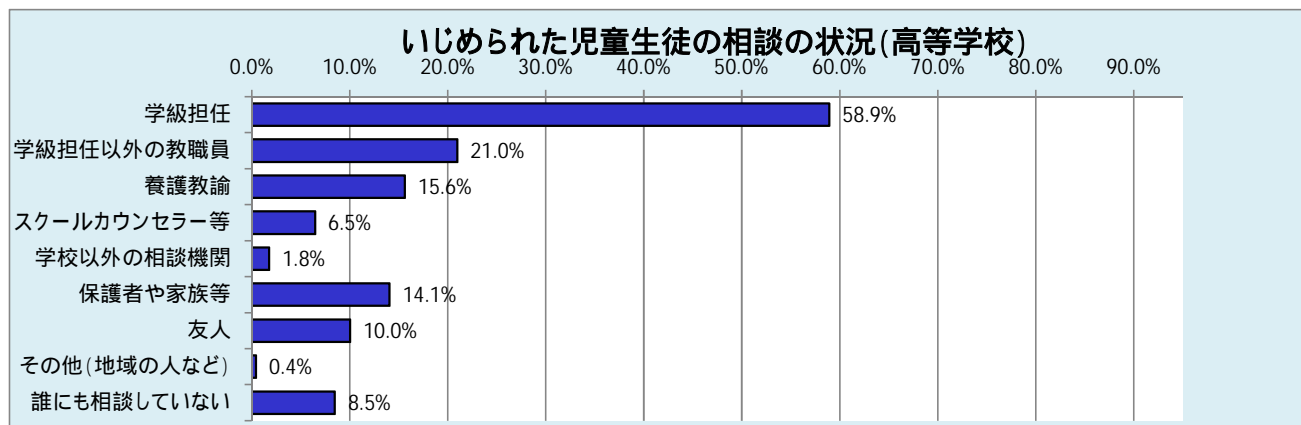
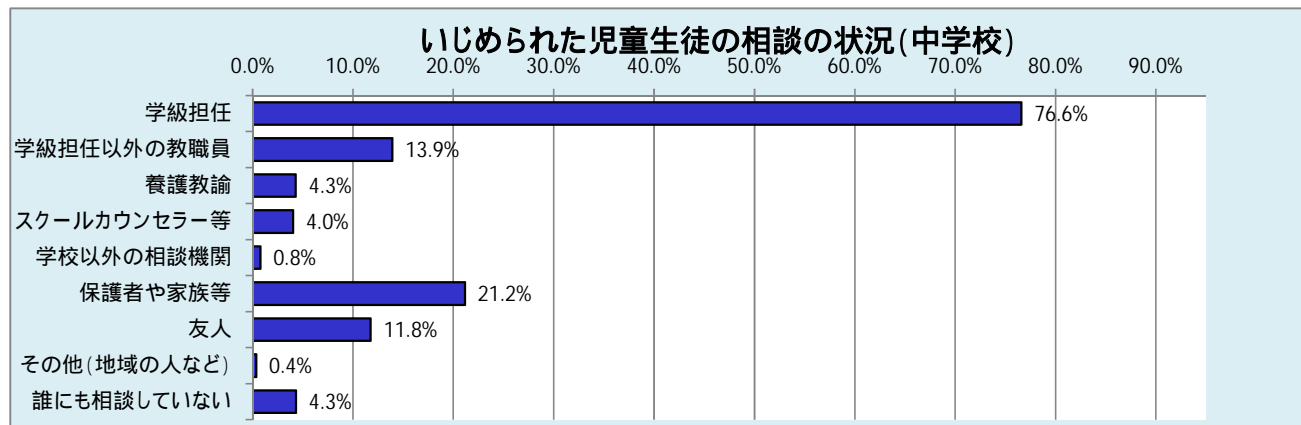
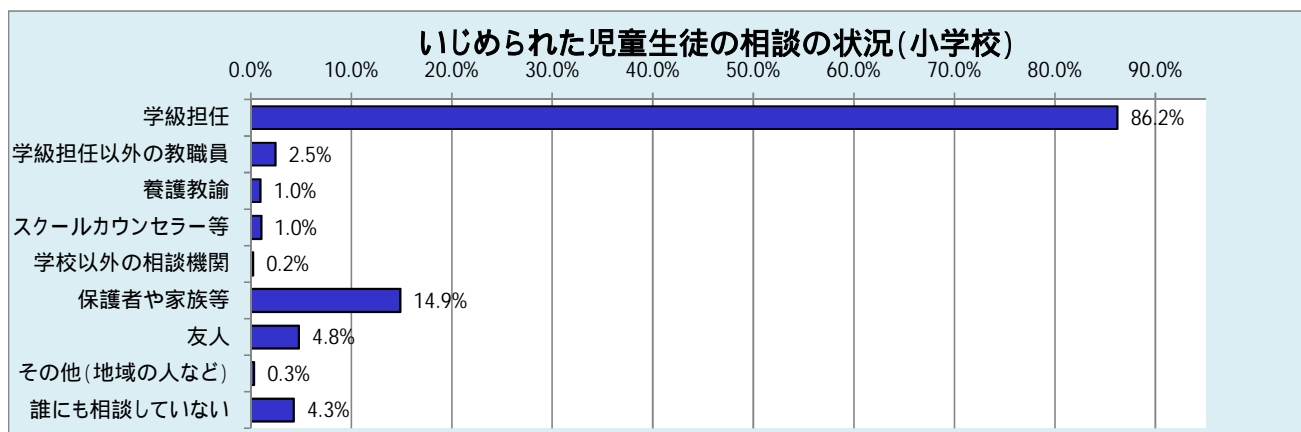
上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。
(認知件数:小学校28,951件、中学校6,267件、高等学校448件)

4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	24,966	4,800	264	154	30,184
学級担任以外の教職員	716	873	94	16	1,699
養護教諭	282	270	70	1	623
スクールカウンセラー等	303	253	29	0	585
学校以外の相談機関	70	49	8	0	127
保護者や家族等	4,308	1,326	63	7	5,704
友人	1,388	738	45	2	2,173
その他(地域の人など)	96	23	2	0	121
誰にも相談していない	1,238	271	38	5	1,552
計	33,367	8,603	613	185	42,768

(注)複数選択を可としている。



上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

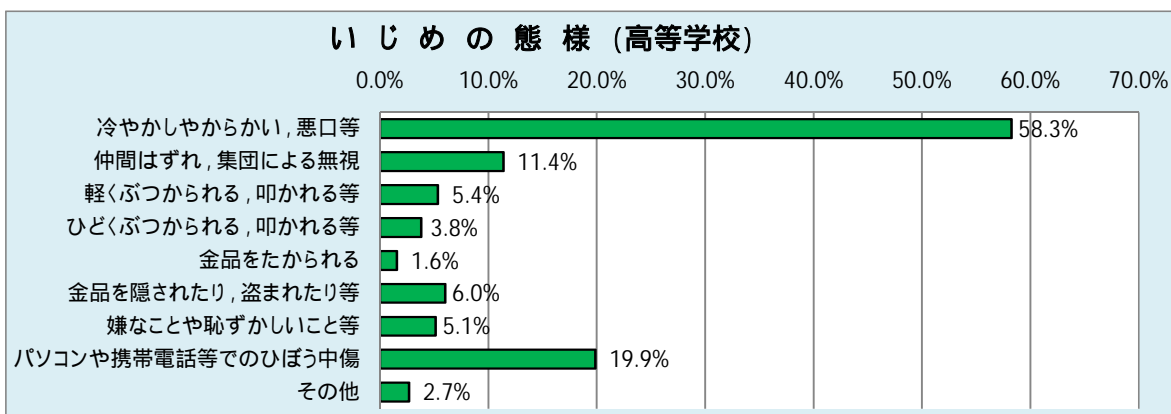
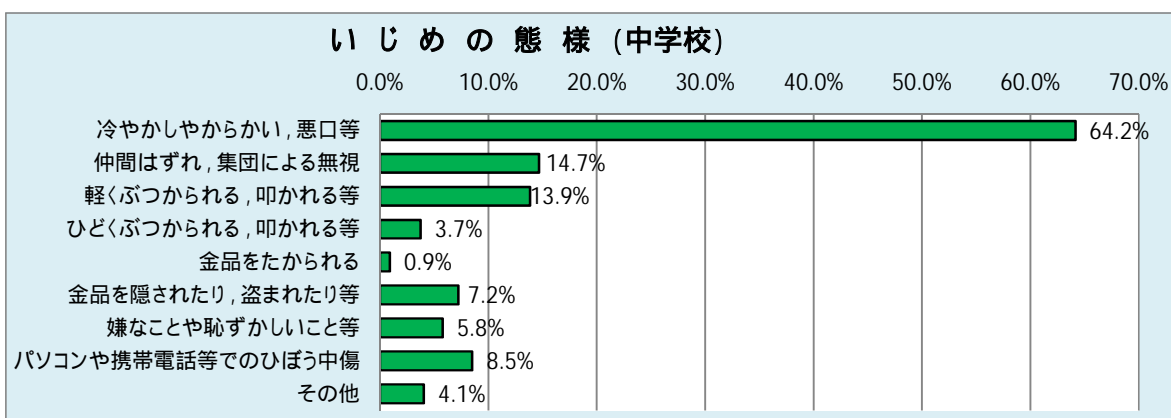
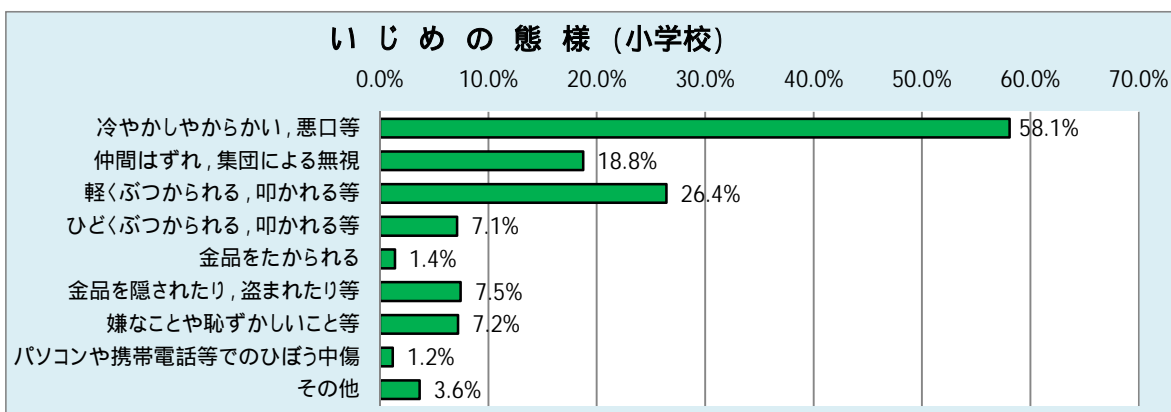
(認知件数:小学校28,951件、中学校6,267件、高等学校448件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい,悪口等	16,817	4,021	261	84	21,183
仲間はずれ,集団による無視	5,431	920	51	12	6,414
軽くぶつかられる,叩かれる等	7,653	868	24	41	8,586
ひどくぶつかられる,叩かれる等	2,063	235	17	12	2,327
金品をたかられる	398	58	7	2	465
金品を隠されたり,盗まれたりする等	2,157	453	27	14	2,651
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	2,089	363	23	13	2,488
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	340	533	89	14	976
その他	1,056	254	12	7	1,329
計	38,004	7,705	511	199	46,419

(注)複数選択を可としている。



上記の割合 (%) は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校28,951件、中学校6,267件、高等学校448件)

平成29年度 公立小中学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1 - (1) 長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	長期欠席率(%)
小学校	312,913	4,060	1.30%
中学校	151,710	6,784	4.47%
合 計	464,623	10,844	2.33%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1 - (2) 理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	小学校			中学校			合 計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病 気	1,697	0.54%	41.80%	1,751	1.15%	25.81%	3,448	0.74%	31.80%
経済的理由	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%
不登校	1,606	0.51%	39.56%	4,637	3.06%	68.35%	6,243	1.34%	57.57%
その他	757	0.24%	18.65%	396	0.26%	5.84%	1,153	0.25%	10.63%
合 計	4,060	1.30%	100%	6,784	4.47%	100%	10,844	2.33%	100.00%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	合 計
小学校	820	727	1,547
中学校	2,858	1,779	4,637
合 計	3,678	2,506	6,184

(注)小学校1年59名については入学前の調査はしていない。

3 小・中学校における不登校児童生徒数の変遷

区分	年度	学校数	全児童生徒数 (人)	不登校児童生 徒数(人)	前年度との不 登校数の差 (人)	全児童生徒に 対する割合 (%)	前年度との割 合の差
小 学 校	平成13年度	860	327,851	831		0.25%	
	平成14年度	859	327,455	839	8	0.26%	0.01
	平成15年度	859	329,643	848	9	0.26%	0.00
	平成16年度	859	329,922	764	-84	0.23%	-0.03
	平成17年度	858	331,897	776	12	0.23%	0.00
	平成18年度	855	333,374	821	45	0.25%	0.02
	平成19年度	854	332,846	819	-2	0.25%	0.00
	平成20年度	850	334,308	811	-8	0.24%	-0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26%	0.02
	平成22年度	847	333,188	871	19	0.26%	0.00
	平成23年度	838	331,232	898	27	0.27%	0.01
	平成24年度	837	325,557	856	-42	0.26%	-0.01
	平成25年度	828	322,121	1,086	230	0.34%	0.08
	平成26年度	820	319,190	1,158	72	0.36%	0.02
	平成27年度	810	316,855	1,233	75	0.39%	0.03
	平成28年度	806	314,710	1,456	223	0.46%	0.07
平成29年度	796	312,913	1,606	150	0.51%	0.05	
中 学 校	平成13年度	385	167,559	4,629		2.76%	
	平成14年度	385	161,781	4,301	-328	2.66%	-0.10
	平成15年度	385	156,398	4,085	-216	2.61%	-0.05
	平成16年度	384	152,280	3,992	-93	2.62%	0.01
	平成17年度	382	150,490	4,091	99	2.72%	0.10
	平成18年度	383	149,670	4,190	99	2.80%	0.08
	平成19年度	384	150,894	4,363	173	2.89%	0.09
	平成20年度	385	151,289	4,340	-23	2.87%	-0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	-93	2.77%	-0.10
	平成22年度	383	152,764	4,182	-65	2.74%	-0.03
	平成23年度	382	154,643	3,879	-303	2.51%	-0.23
	平成24年度	383	154,563	3,734	-145	2.42%	-0.09
	平成25年度	382	155,022	3,884	150	2.51%	0.09
	平成26年度	382	154,662	3,963	79	2.56%	0.05
	平成27年度	381	154,585	4,160	197	2.69%	0.13
	平成28年度	381	153,293	4,191	31	2.73%	0.04
平成29年度	379	151,710	4,637	446	3.06%	0.33	
合 計	平成13年度	1245	495,410	5,460		1.10%	
	平成14年度	1244	489,236	5,140	-320	1.05%	-0.05
	平成15年度	1244	486,041	4,933	-207	1.01%	-0.04
	平成16年度	1243	482,202	4,756	-177	0.99%	-0.02
	平成17年度	1240	482,387	4,867	111	1.01%	0.02
	平成18年度	1238	483,044	5,011	144	1.04%	0.03
	平成19年度	1238	483,740	5,182	171	1.07%	0.03
	平成20年度	1235	485,597	5,151	-31	1.06%	-0.01
	平成21年度	1228	487,266	5,099	-52	1.05%	-0.01
	平成22年度	1230	485,952	5,053	-46	1.04%	-0.01
	平成23年度	1220	485,875	4,777	-276	0.98%	-0.06
	平成24年度	1220	480,120	4,590	-187	0.96%	-0.02
	平成25年度	1210	477,143	4,970	380	1.04%	0.08
	平成26年度	1202	473,852	5,121	151	1.08%	0.04
	平成27年度	1191	471,440	5,393	272	1.14%	0.06
	平成28年度	1187	468,003	5,647	254	1.21%	0.07
平成29年度	1175	464,623	6,243	596	1.34%	0.13	

4 学年別不登校児童生徒数

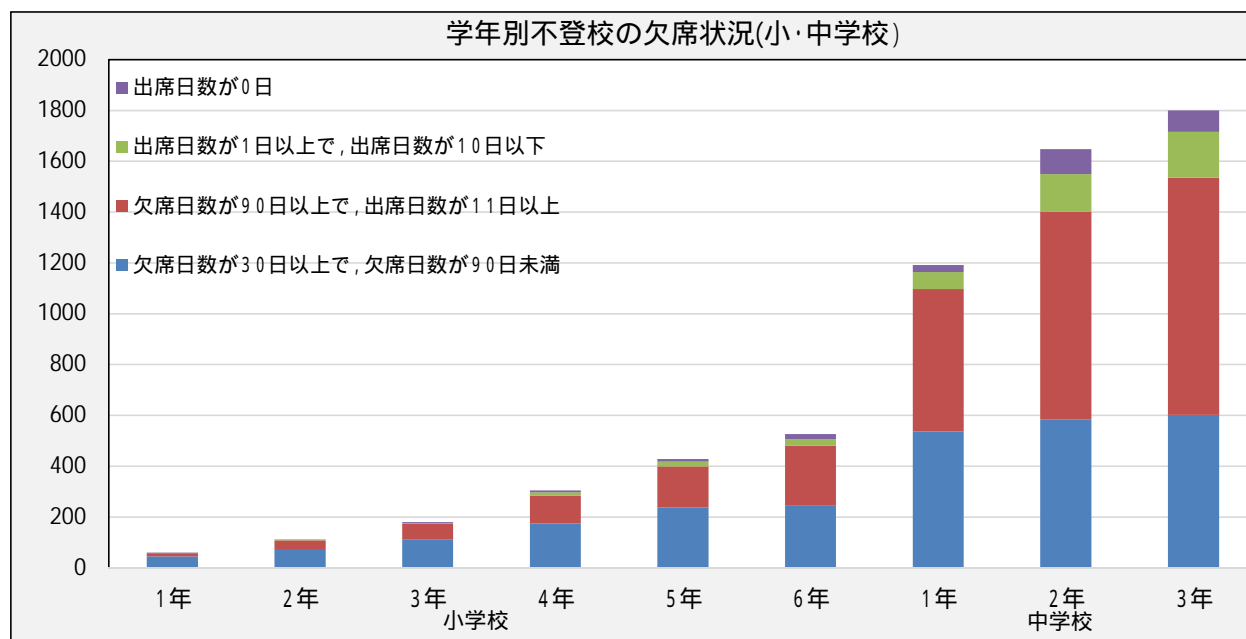
(1) 小学校

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
不登校児童数	59	111(51)	179(71)	304(149)	427(214)	526(335)	1,606(820)
うち、90日以上欠席	15	41	69	129	190	282	726
うち、出席日数が10日以下	2	3	6	21	29	46	107
うち、出席日数が0日	1	1	4	8	10	20	44

(2) 中学校

区分	1年	2年	3年	合計
不登校生徒数	1,191(534)	1,647(1,019)	1,799(1,305)	4,637(2,858)
うち、90日以上欠席	655	1,064	1,198	2,917
うち、出席日数が10日以下	94	245	264	603
うち、出席日数が0日	28	98	84	210

()内は前年度から不登校の状態(30日以上)が継続している児童生徒の人数。中学校1年については平成28年度における小学校6年の不登校児童生徒の人数。



5 不登校児童生徒の在籍学校数

区分	学校総数(校)	不登校在籍学校数(校)
小学校	796	520
中学校	379	364
合計	1,175	884

6 不登校児童生徒への指導結果状況

区分	小学校	中学校	計
	人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	336 20.9%	1,198 25.8%	1,534 24.6%
指導中の児童生徒	1,270 79.1%	3,439 74.2%	4,709 75.4%
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	375 23.3%	922 19.9%	1,297 20.8%
合計	1,606	4,637	6,243

7 不登校の要因

(1) 小学校

本人に係る要因 (分類)	学校・家庭に係る要因 (区分)	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
			いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	進入学時、転編入学時の不適応		
「学校における人間関係」に課題を抱えている。		248	4	169	26	12	0	1	3	10	42	10
			1.6%	68.1%	10.5%	4.8%	0.0%	0.4%	1.2%	4.0%	16.9%	4.0%
		15.4%	100.0%	50.3%	46.4%	6.1%	0.0%	7.1%	7.5%	10.3%	5.2%	5.5%
「あそび・非行」の傾向がある。		13	0	0	0	3	0	0	1	3	7	1
			0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%	23.1%	53.8%	7.7%
		0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	2.5%	3.1%	0.9%	0.5%
「無気力」の傾向がある。		471	0	27	5	85	5	2	14	26	294	49
			0.0%	5.7%	1.1%	18.0%	1.1%	0.4%	3.0%	5.5%	62.4%	10.4%
		29.3%	0.0%	8.0%	8.9%	43.1%	38.5%	14.3%	35.0%	26.8%	36.4%	26.9%
「不安」の傾向がある。		583	0	124	15	86	8	10	18	50	251	86
			0.0%	21.3%	2.6%	14.8%	1.4%	1.7%	3.1%	8.6%	43.1%	14.8%
		36.3%	0.0%	36.9%	26.8%	43.7%	61.5%	71.4%	45.0%	51.5%	31.1%	47.3%
「その他」		291	0	16	10	11	0	1	4	8	213	36
			0.0%	5.5%	3.4%	3.8%	0.0%	0.3%	1.4%	2.7%	73.2%	12.4%
		18.1%	0.0%	4.8%	17.9%	5.6%	0.0%	7.1%	10.0%	8.2%	26.4%	19.8%
計		1,606	4	336	56	197	13	14	40	97	807	182
		100.0%	0.2%	20.9%	3.5%	12.3%	0.8%	0.9%	2.5%	6.0%	50.2%	11.3%

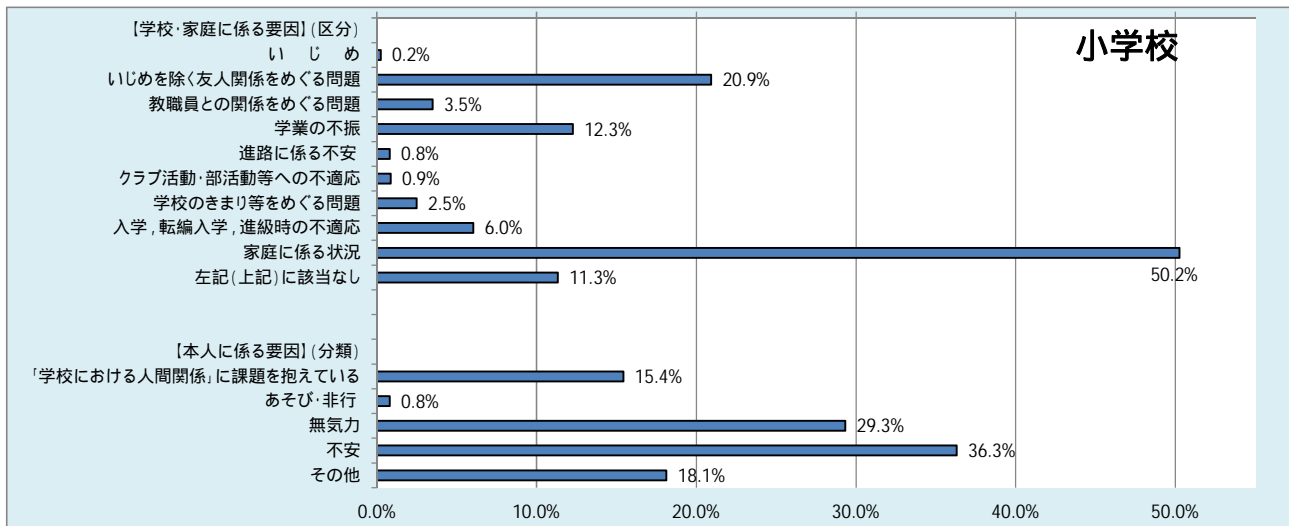
(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童全員につき、主たる要因一つを選択。

(注2) 「学校・家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、左記に該当なしを選択。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における「分類別児童」に対する割合。下段は、各区分における「学校・家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

(注5) 分類の「その他」については、本人や保護者と話をしても上記傾向が見えず、理由がはっきりしないもの。



(2) 中学校

本人に係る要因 (分類)	学校・家庭に係る要因 (区分)	分類別生徒数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
			いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応		
「学校における人間関係」に課題を抱えている。		975	5	675	38	112	24	40	8	80	110	33
			0.5%	69.2%	3.9%	11.5%	2.5%	4.1%	0.8%	8.2%	11.3%	3.4%
		21.0%	83.3%	43.6%	40.9%	10.1%	11.2%	28.2%	7.2%	27.2%	8.4%	6.7%
「あそび・非行」の傾向がある。		225	0	24	5	70	25	2	52	8	102	19
			0.0%	10.7%	2.2%	31.1%	11.1%	0.9%	23.1%	3.6%	45.3%	8.4%
		4.9%	0.0%	1.5%	5.4%	6.3%	11.7%	1.4%	46.8%	2.7%	7.8%	3.8%
「無気力」の傾向がある。		1,576	0	281	19	584	69	48	26	94	526	166
			0.0%	17.8%	1.2%	37.1%	4.4%	3.0%	1.6%	6.0%	33.4%	10.5%
		34.0%	0.0%	18.1%	20.4%	52.9%	32.2%	33.8%	23.4%	32.0%	40.3%	33.5%
「不安」の傾向がある。		1,320	1	516	22	305	87	45	12	97	309	106
			0.1%	39.1%	1.7%	23.1%	6.6%	3.4%	0.9%	7.3%	23.4%	8.0%
		28.5%	16.7%	33.3%	23.7%	27.6%	40.7%	31.7%	10.8%	33.0%	23.7%	21.4%
「その他」		541	0	53	9	33	9	7	13	15	258	172
			0.0%	9.8%	1.7%	6.1%	1.7%	1.3%	2.4%	2.8%	47.7%	31.8%
		11.7%	0.0%	3.4%	9.7%	3.0%	4.2%	4.9%	11.7%	5.1%	19.8%	34.7%
計		4,637	6	1,549	93	1,104	214	142	111	294	1,305	496
		100.0%	0.1%	33.4%	2.0%	23.8%	4.6%	3.1%	2.4%	6.3%	28.1%	10.7%

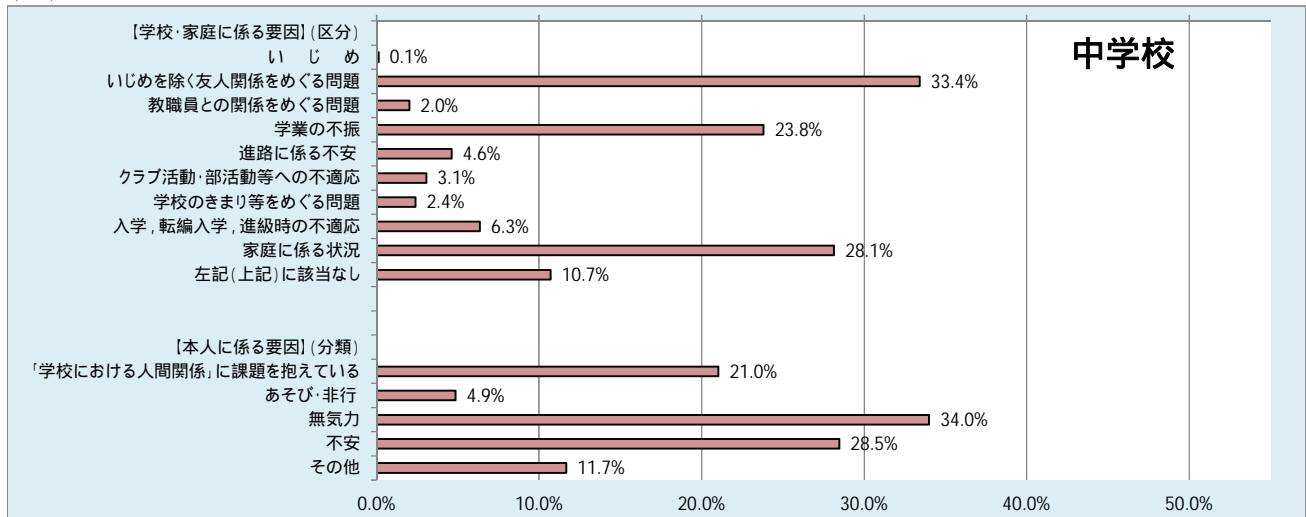
(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した生徒全員につき、主たる要因一つを選択。

(注2) 「学校・家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、左記に該当なしを選択。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における「分類別生徒数」に対する割合。下段は、各区分における「学校・家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

(注5) 分類の「その他」については、本人や保護者と話をしても上記傾向が見えず、理由がはっきりしないもの。



8 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	小学校					中学校					計					
	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	出席扱いにした学校数(実数)	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	出席扱いにした学校数(実数)	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	出席扱いにした学校数(実数)	通学定期乗車券制度適用人数	
学校	(1) ~ の機関等での相談・指導等を受けた実人数	523	32.6%	217	151	7	1,150	24.8%	798	267	14	1,673	26.8%	1,015	418	21
	教育支援センター(適応指導教室)	161	10.0%	111	81	3	521	11.2%	468	187	6	682	10.9%	579	268	9
	教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	215	13.4%	84	62	1	348	7.5%	243	94	2	563	9.0%	327	156	3
	児童相談所, 福祉事務所	45	2.8%	9	8	0	91	2.0%	37	26	0	136	2.2%	46	34	0
	保健所, 精神保健福祉センター	5	0.3%	0	0	0	3	0.1%	0	0	0	8	0.1%	0	0	0
	病院, 診療所	98	6.1%	8	6	1	138	3.0%	7	7	0	236	3.8%	15	13	1
	民間団体, 民間施設	46	2.9%	15	14	2	76	1.6%	56	41	6	122	2.0%	71	55	8
	上記以外の機関等	33	2.1%	8	6	0	34	0.7%	10	9	1	67	1.1%	18	15	1
外	(2) ~ の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1083	67.4%				3,487	75.2%				4,570	73.2%			
	(3) (1), (2)の合計	1,606	100%				4,637	100%				6,243	100%			
学校内	(4) , による相談・指導等を受けた実人数	688	42.8%				1,989	42.9%				2,677	42.9%			
	養護教諭による専門的な指導を受けた人数	318	19.8%				763	16.5%				1,081	17.3%			
	スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	508	31.6%				1,492	32.2%				2,000	32.0%			
	(5) 上記 , による相談・指導等を受けていない人数	918	57.2%				2,648	57.1%				3,566	57.1%			
	(6) (4), (5)の合計	1,606	100%				4,637	100%				6,243	100%			
	(7) 上記 ~ , による相談・指導等を受けていない人数	482	30.0%				1,554	33.5%				2,036	32.6%			

(注) 複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校児童生徒数に対する割合を示している。
 (不登校児童生徒数: 小学校 1,606人、中学校 4,637人、合計 6,243人)

平成29年度 公立高等学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1 - (1) 長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率(%)	前年比
全日制	100,636	2,293	-82	2.28%	-0.07%
定時制	2,854	956	-248	33.50%	-7.99%
合計	103,490	3,249	-330	3.14%	-0.30%

(注) 長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1 - (2) 理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	全日制			定時制			全定合計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病気	350	0.35%	15.26%	34	1.19%	3.56%	384	0.37%	11.82%
経済的理由	11	0.01%	0.48%	66	2.31%	6.90%	77	0.07%	2.37%
不登校	1,830	1.82%	79.81%	786	27.54%	82.22%	2,616	2.53%	80.52%
その他	102	0.10%	4.45%	70	2.45%	7.32%	172	0.17%	5.29%
合計	2,293	2.28%	100%	956	33.50%	100%	3,249	3.14%	100.00%

(注1) 出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2) 割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3) 欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	その他	合計
全日制	603	1,113	114	1,830
定時制	546	212	28	786
合計	1,149	1,325	142	2,616

(注) 「その他」は、不登校生徒のうち前年度の不登校の状況が確認できなかった者である。

3 - (1) 課程別不登校生徒数

	全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	492	1.78%	/		492	1.78%
2学年	576	2.12%	/		576	2.12%
3学年	525	1.95%	/		525	1.95%
単位制	237	1.26%	786	27.54%	1,023	4.71%
合 計	1,830	1.82%	786	27.54%	2,616	2.53%

3 - (2) 課程別不登校生徒欠席状況

区 分	全 日 制				定時制 (単位制)	全定合計
	1年	2年	3年	単位制		
不登校生徒数	492	576	525	237	786	2,616
うち、90日以上欠席	60	60	21	25	210	376
うち、出席日数が10日以下	11	7	5	9	39	71
うち、出席日数が0日	4	4	0	4	13	25

3 - (3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中途退学者数	中途退学率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全 日 制	1,830	479	26.17%	39	2.13%
定 時 制	786	204	25.95%	/	
合 計	2,616	683	26.11%	39	1.49%

3 - (4) 不登校生徒への指導結果状況

区 分		全 日 制	定 時 制	全 定 合 計
		人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった生徒		653	285	938
		35.7%	36.3%	35.9%
指導中の生徒		1,177	501	1,678
		64.3%	63.7%	64.1%
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	93	75	168	
	5.1%	9.5%	6.4%	
合 計		1,830	786	2,616

4 不登校の要因

(1) 高校: 全日制

本人に係る要因 (分類)	学校・家庭に係る要因 (区分)	分類別生徒数	学校に係る状況							家庭に係る状況	左記に該当なし	
			いじめ	関わりをめぐり友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐり問題			進級時、転編入学、不適応
「学校における人間関係」に課題を抱えている。		276	3	189	4	32	5	19	6	25	16	1
			1.1%	68.5%	1.4%	11.6%	1.8%	6.9%	2.2%	9.1%	5.8%	0.4%
		15.1%	75.0%	51.1%	44.4%	5.1%	3.1%	65.5%	6.4%	8.6%	6.3%	1.3%
「あそび・非行」の傾向がある。		247	0	29	3	80	8	0	47	64	27	5
			0.0%	11.7%	1.2%	32.4%	3.2%	0.0%	19.0%	25.9%	10.9%	2.0%
		13.5%	0.0%	7.8%	33.3%	12.7%	5.0%	0.0%	50.0%	22.0%	10.7%	6.4%
「無気力」の傾向がある。		846	0	96	1	419	57	4	35	145	108	11
			0.0%	11.3%	0.1%	49.5%	6.7%	0.5%	4.1%	17.1%	12.8%	1.3%
		46.2%	0.0%	25.9%	11.1%	66.5%	35.6%	13.8%	37.2%	49.8%	42.7%	14.1%
「不安」の傾向がある。		273	0	50	0	53	80	4	4	33	55	8
			0.0%	18.3%	0.0%	19.4%	29.3%	1.5%	1.5%	12.1%	20.1%	2.9%
		14.9%	0.0%	13.5%	0.0%	8.4%	50.0%	13.8%	4.3%	11.3%	21.7%	10.3%
「その他」		188	1	6	1	46	10	2	2	24	47	53
			0.5%	3.2%	0.5%	24.5%	5.3%	1.1%	1.1%	12.8%	25.0%	28.2%
		10.3%	25.0%	1.6%	11.1%	7.3%	6.3%	6.9%	2.1%	8.2%	18.6%	67.9%
計		1,830	4	370	9	630	160	29	94	291	253	78
		100.0%	0.2%	20.2%	0.5%	34.4%	8.7%	1.6%	5.1%	15.9%	13.8%	4.3%

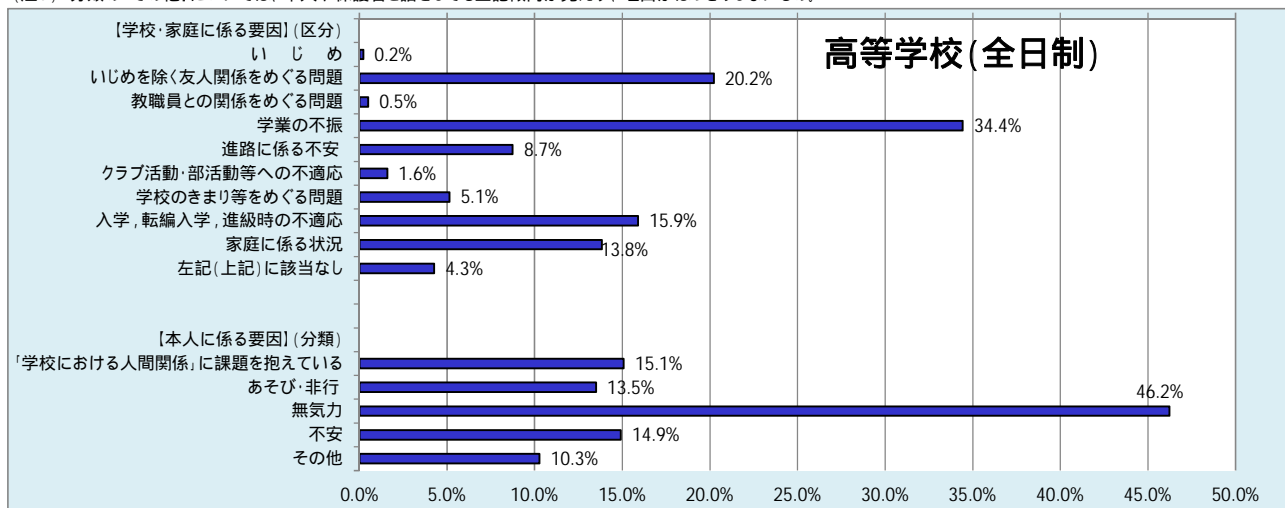
(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した生徒全員につき、主たる要因一つを選択。

(注2) 「学校・家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、左記に該当なしを選択。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐり問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における「分類別生徒数」に対する割合。下段は、各区分における「学校・家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

(注5) 分類の「その他」については、本人や保護者と話をしても上記傾向が見えず、理由がはっきりしないもの。



(2) 高校: 定時制

本人に係る要因 (分類)	学校・家庭に係る要因 (区分)	分類別生徒数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
			いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応		
「学校における人間関係」に課題を抱えている。		143	0	116	7	10	4	0	6	9	15	1
			0.0%	81.1%	4.9%	7.0%	2.8%	0.0%	4.2%	6.3%	10.5%	0.7%
		18.2%		44.6%	46.7%	5.7%	5.5%	0.0%	10.2%	12.7%	6.2%	4.3%
「あそび・非行」の傾向がある。		104	0	16	5	29	3	0	29	2	48	2
			0.0%	15.4%	4.8%	27.9%	2.9%	0.0%	27.9%	1.9%	46.2%	1.9%
		13.2%		6.2%	33.3%	16.5%	4.1%	0.0%	49.2%	2.8%	19.8%	8.7%
「無気力」の傾向がある。		247	0	51	0	69	29	0	18	47	69	9
			0.0%	20.6%	0.0%	27.9%	11.7%	0.0%	7.3%	19.0%	27.9%	3.6%
		31.4%		19.6%	0.0%	39.2%	39.7%	0.0%	30.5%	66.2%	28.5%	39.1%
「不安」の傾向がある。		143	0	53	3	34	17	4	3	10	42	1
			0.0%	37.1%	2.1%	23.8%	11.9%	2.8%	2.1%	7.0%	29.4%	0.7%
		18.2%		20.4%	20.0%	19.3%	23.3%	44.4%	5.1%	14.1%	17.4%	4.3%
「その他」		149	0	24	0	34	20	5	3	3	68	10
			0.0%	16.1%	0.0%	22.8%	13.4%	3.4%	2.0%	2.0%	45.6%	6.7%
		19.0%		9.2%	0.0%	19.3%	27.4%	55.6%	5.1%	4.2%	28.1%	43.5%
計		786	0	260	15	176	73	9	59	71	242	23
		100.0%	0.0%	33.1%	1.9%	22.4%	9.3%	1.1%	7.5%	9.0%	30.8%	2.9%

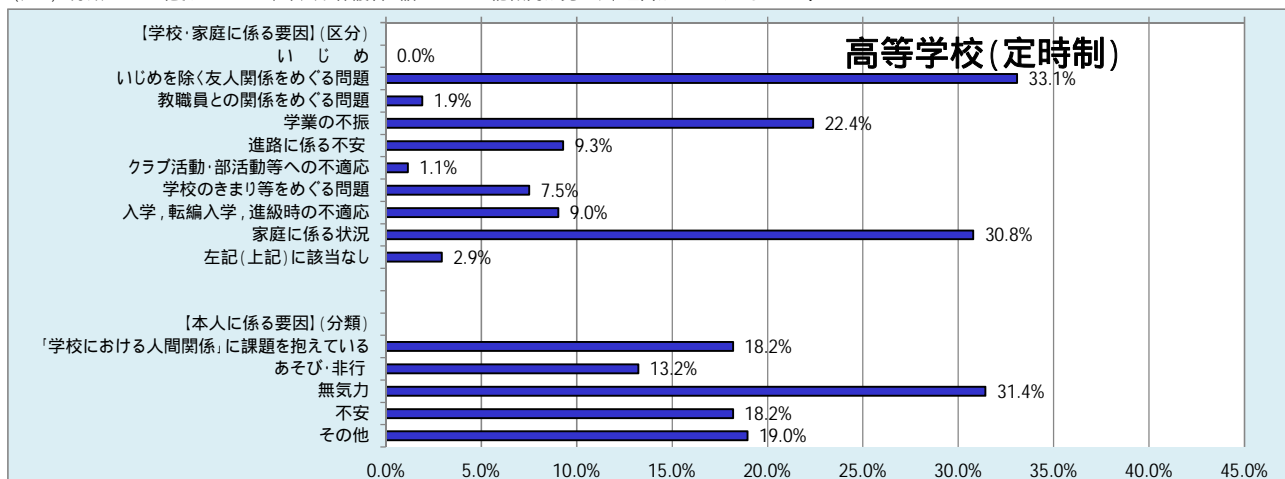
(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した生徒全員につき、主たる要因一つを選択。

(注2) 「学校・家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、左記に該当なしを選択。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における「分類別生徒数」に対する割合。下段は、各区分における「学校・家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

(注5) 分類の「その他」については、本人や保護者と話をしても上記傾向が見えず、理由がはっきりしないもの。



5 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区 分		全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
		総数	割合 (%)	総数	割合 (%)	総数	割合 (%)
学 校 外	(1) ~ の機関等での相談・指導等を受けた実人数	102	5.6%	44	5.6%	146	5.6%
	指導要録上出席扱いとなった実人数	4		0		4	
	教育支援センター(適応指導教室)	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	10	0.5%	1	0.1%	11	0.4%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	児童相談所, 福祉事務所	13	0.7%	12	1.5%	25	1.0%
	指導要録上出席扱いとなった人数	4		0		4	
	保健所, 精神保健福祉センター	6	0.3%	2	0.3%	8	0.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	病院, 診療所	73	4.0%	30	3.8%	103	3.9%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	民間団体, 民間施設	1	0.1%	1	0.1%	2	0.1%
指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		
上記以外の機関等	4	0.2%	2	0.3%	6	0.2%	
指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		
(2) ~ の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1,624	88.7%	720	91.6%	2,344	89.6%	
(3)不明	104	5.7%	22	2.8%	126	4.8%	
(4) (1)~(3)の合計	1,830	100.0%	786	100.0%	2,616	100.0%	
学 校 内	(5) , による相談・指導等を受けた実人数	600	32.8%	193	24.6%	793	30.3%
	養護教諭による専門的な指導を受けた人数	363	19.8%	98	12.5%	461	17.6%
	スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	363	19.8%	100	12.7%	463	17.7%
	(6)上記 , による相談・指導等を受けていない人数	1,230	67.2%	593	75.4%	1,823	69.7%
	(7) (5),(6)の合計	1,830	100.0%	786	100.0%	2,616	100.0%

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校生徒数に対する割合を示している。

(不登校生徒数:全日制 1,830人、定時制 786人、合計 2,616人)

平成29年度 公立高等学校の中途退学者数等の状況(千葉県)

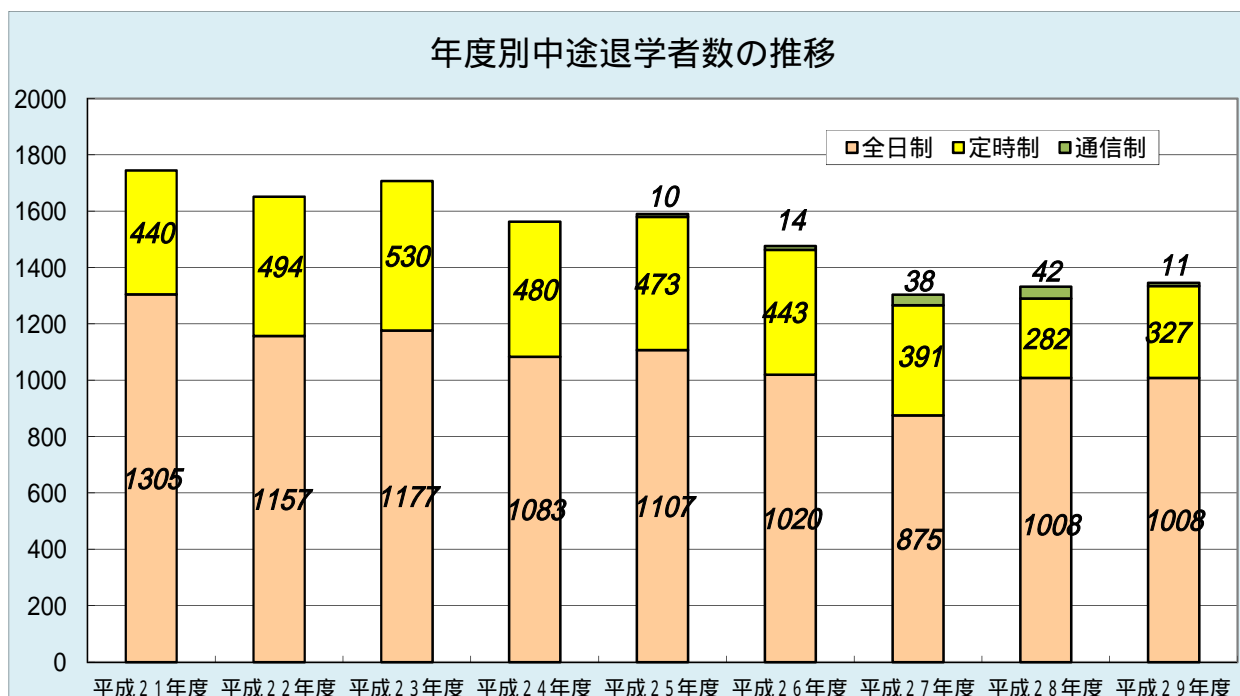
1 - (1) 中途退学者数(在籍者数は、4月1日現在による)

	在籍者数(4/1現在)	中途退学者数総数	前年度増減	中退率(%)	前年比
全日制	100,670	1,008	0	1.00%	0.00%
定時制	2,861	327	45	11.43%	1.74%
通信制	1,094	11	-31	1.01%	-2.90%
合計	104,625	1,346	14	1.29%	0.02%

(注)平成25年度の調査から通信制が加わった。

1 - (2) 中途退学者(人数)・中途退学率(%)の推移

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全日制	中退者数	1,305	1,157	1,177	1,083	1,107	1,020	875	1,008	1,008
	中退率(%)	1.35%	1.18%	1.18%	1.07%	1.11%	1.01%	0.87%	1.00%	1.00%
定時制	中退者数	440	494	530	480	473	443	391	282	327
	中退率(%)	13.61%	14.18%	14.82%	13.18%	13.45%	13.26%	12.67%	9.69%	11.43%
通信制	中退者数					10	14	38	42	11
	中退率(%)					0.69%	1.32%	3.29%	3.91%	1.01%
合計	中退者数	1,745	1,651	1,707	1,563	1,590	1,477	1,304	1,332	1,346
	中退率(%)	1.75%	1.62%	1.66%	1.50%	1.51%	1.40%	1.24%	1.27%	1.29%



2-(1) 全日制学年別中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比	割合 (%)	割合 前年比
1	27,662	439	1.59%	-0.04	43.6%	-1.3
2	27,222	331	1.22%	0.07	32.8%	1.4
3	27,033	137	0.51%	0.06	13.6%	1.4
単位制	18,753	101	0.54%	-0.09	10.0%	-1.4
合計	100,670	1,008	1.00%	0.00	100.0%	

2-(2) 定時制・通信制中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比
定時制	2,861	327	11.43%	1.74
通信制	1,094	11	1.01%	-2.90
合計	3,955	338	8.55%	0.42

3 中途退学の理由別割合

中途退学の理由		全日制			定時制			通信制			合計		
		総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比
学 業 不 振		134	13.3%	-1.0%	27	8.3%	4.0%	3	27.3%	3.5%	164	12.2%	-0.3%
学 校 生 活 学 業 不 適 応	もともと高校生活に熱意がない	227	22.5%	1.6%	73	22.3%	-0.7%	0	0.0%	-45.2%	300	22.3%	0.2%
	授業に興味がない	98	9.7%	0.9%	19	5.8%	-0.9%	0	0.0%	0.0%	117	8.7%	0.6%
	人間関係がうまく保てない	100	9.9%	-1.5%	30	9.2%	-1.4%	0	0.0%	0.0%	130	9.7%	-1.2%
	学校の雰囲気が合わない	63	6.3%	-0.1%	9	2.8%	-2.2%	0	0.0%	0.0%	72	5.3%	-0.6%
	その他	40	4.0%	-1.3%	28	8.6%	2.9%	0	0.0%	0.0%	68	5.1%	-0.1%
進 路 変 更	別の高校への入学を希望	95	9.4%	-2.7%	23	7.0%	2.4%	7	63.6%	46.9%	125	9.3%	-1.4%
	専修・各種学校への入学を希望	4	0.4%	-0.4%	4	1.2%	0.1%	0	0.0%	-2.4%	8	0.6%	-0.3%
	就職を希望	77	7.6%	2.9%	50	15.3%	1.1%	1	9.1%	9.1%	128	9.5%	3.0%
	高卒程度認定試験受験を希望	19	1.9%	-0.1%	6	1.8%	0.4%	0	0.0%	0.0%	25	1.9%	0.1%
	その他	19	1.9%	-0.8%	8	2.4%	-0.4%	0	0.0%	-7.1%	27	2.0%	-0.9%
病 気 け が 死 亡		31	3.1%	0.4%	4	1.2%	-0.2%	0	0.0%	-2.4%	35	2.6%	0.2%
経 済 的 理 由		5	0.5%	0.1%	15	4.6%	1.4%	0	0.0%	0.0%	20	1.5%	0.5%
家 庭 の 事 情		37	3.7%	0.8%	19	5.8%	-3.4%	0	0.0%	-2.4%	56	4.2%	0.0%
問 題 行 動 等		40	4.0%	1.4%	11	3.4%	-1.9%	0	0.0%	0.0%	51	3.8%	0.7%
そ の 他 の 理 由		19	1.9%	-0.2%	1	0.3%	-1.1%	0	0.0%	0.0%	20	1.5%	-0.4%
合 計		1,008	100.0%		327	100.0%		11	100.0%		1,346	100.0%	

(注1) 上記の割合は(%)は中途退学者数に対する割合を示している。

(中途退学者数:全日制 1,008人、定時制 327人、通信制 11人)

(注2) 資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。